

保護者 殿

東海大学付属甲府高等学校

校長 八巻 英世

インフルエンザ罹患証明書

インフルエンザに罹患した生徒は、発症した後5日を経過し、かつ解熱した(平熱に戻った)後2日(48時間)を経過するまで登校できません。

医師にインフルエンザと診断された場合、下記の証明を学校へ提出してください。

出席停止となり、その期間は欠席になりませんので、必ず医師の指示を受けてください。

————— < 保護者記入 > —————

学校長 殿

年 組 番 生徒氏名

下記の通り、インフルエンザで療養していましたが、発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日(48時間)を経過し、完治しましたので登校させます。(発症日の翌日が1日目)

1. 受診した日 20 年 月 日 ()

2. 診断名 インフルエンザ A型 ・ B型 ・ 不明 (該当する型に○を付けてください)

3. 医療機関名 _____

4. 発症した日 20 年 月 日 ()

* 発症した日＝インフルエンザ様の症状(発熱、筋肉痛、咳、くしゃみ、寒気等)が始まった日。

5. 裏面に、**医療機関の領収書**及び、**投薬説明書**を添付。

< 体温測定結果表 … 発症した日から体温を測定し、記入してください。 >

	発症日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
月/日	/	/	/	/	/	/	/	/
曜日	()	()	()	()	()	()	()	()
体温測定 時刻 (午前)	: °C	: °C	: °C	: °C	: °C	: °C	: °C	: °C
体温測定 時刻 (午後)	: °C	: °C	: °C	: °C	: °C	: °C	: °C	: °C

(発熱が長く、記録できない場合は、裏面の空欄へ記入するか、別の記録用紙を添付する等してください。)

20 年 月 日

保護者氏名

印

この面に、医療機関の領収書及び、投薬説明書を添付してください。
 (インフルエンザの検査をしたこと、インフルエンザの薬を処方されたことがわかるもの。)

インフルエンザ出席停止期間早見表

発熱期間		発症日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
1日間	発症後 1日目に解熱	●	▲	△	△	△	△			
2日間	発症後 2日目に解熱	●	●	▲	△	△	△			
3日間	発症後 3日目に解熱	●	●	●	▲	△	△			
4日間	発症後 4日目に解熱	●	●	●	●	▲	△	△		
5日間	発症後 5日目に解熱	●	●	●	●	●	▲	△	△	
		● =発熱	▲ =解熱	△ =解熱後	=登校可能					

解熱とは、平熱に戻ることを指します。

発熱初日と解熱した日は発熱期間に含まれます。

一日のうちで、発熱・解熱の両方を確認した際は、発熱とみなします。

解熱後に、再度発熱した際は、最後の解熱日を基準とし、判断し、場合によっては再度医療機関へ受診してください。

処方された薬によっては、解熱が早い場合がありますが、ウイルスがまだ体内にある場合があります。出席停止期間より早く登校すると、学校での感染、流行が懸念されます。また、本人の抵抗力回復のためにも出席停止期間は必ず医師の判断、指示に従い、守ってください。

承認	校長	副校長	教頭	教頭補佐	教務主任	学年主任	担任

(捺印・承認後は養護教諭に提出)